

とちぎ新聞

主筆 松山明
(発行所)北海道足寄町足寄部 ともち新聞社 電話2551番
毎月5日発行 1ヵ月150円 1ヵ年前納1,500円

候補は町長らに一任

議員懇談会で決定

足寄から道議を!

二十四日の臨時第一回の足寄町議会が閉会してから

議員懇談会をひらいて、次期道議選の問題について協議しました。はじめに大滝議長から「道議については岡崎道議の意向を尊重し、自民党支部、社会党支部に申し入れし、出すようにならないかと呼びかけたが、党派を超えて出せるものなら本町から出したい、キダンのないみなさんの意見を拝聴した」と述べた。

自民党支部では 立起の態勢

これにたいして自民党支部長の驚足議員は「自民党の組織からザックザックと再三合会をもち検討したが結論としてまだ立起の態勢ができていない、道議は新旧交替の時期で、どうしても好条件の足寄町から出さなければならない、前進させるために十勝連合支部や道連合の希望としては単位支部だけの推薦ではなく、当選可能を前提として大きなブロック池北三町、浦幌その他隣接支部の応援、諒解を得てから名前を出すようにしたい」と述べた。

すべり出した道議選

〇本別、足寄、陸別、浦幌の四町の自民党支部のおいででは、昨年二月に開いた次期道議選についての話し合いが、どの町も、この町から出馬するにしても四町支部が一九となつて必勝を期することになつていて、この「玉のコン」にだれが乗つかれるかというところになつてきた。〇：できれば池北線の中心に位置する足寄町から出したい方が都合という空気になつてきたよう、足寄支部の出方いかんの状態では、いよいよ明後年に追つたタイムリミットをとらえて、大滝議長が音頭をとつて議員懇談会にもち込んで尻をたたいた形。

久保呉服店

足寄町 二二四八

新柄婚礼衣裳
きもの帯は
〇：それと、そのほか、学園都市国立総合大学、高速道路大規模林業園、丸瀬布道路鉄道新線など飛躍的な進展をかかえる町として、なん

町政懇談会

足寄町では新年度予算編成を前にして、小林町長をはじめ各課長が出席して、

議員定数減など 陸別町議会で問題

新年第一回の陸別町議会二月に入つて臨時会を招き、交替して片やらない委員会集の予定で、このあと三月の年度当初予算定例会にかけての問題点が三つある。一、議員定数減の問題。二、候補者は小林町長、大滝議長らが世話人となつて全町から選挙することになり、新村氏は再度、渡部氏

収入役の廃止?

その三は収入役の問題で、この三月で任期満了となる。この三月で任期満了となる。この三月で任期満了となる。この三月で任期満了となる。

常任委員の改選

その二は常任委員の問題で、四年の任期の後半に入るので、総務、産業厚生、建設の三常任委員の入れ替えの動きが出ています。

町政懇談会

足寄町では新年度予算編成を前にして、小林町長をはじめ各課長が出席して、

- ▲青少年会館(中矢、足寄太、下足寄太、川向)十日九時半
- ▲旧茂喜登小学校(花輪末広、植坂、磯、向陽、柏倉、五十鈴)十二日九時半
- ▲旧白糸小学校(高嶺、清水、滝の上、白糸、泉、静原)十二日一時半
- ▲役場会議室(東区、北区)十三日九時半
- ▲東小学校(旭町、足寄、平和、昭和、上足寄太)十三日一時半
- ▲公民館(南区、中央区)十四日九時半
- ▲西区生活館(西区、神社区、鉄道区、美盛、常盤)十四日一時半

主筆の室
〇：ある町の町議会議長さんがあるローカル新聞で散々にコキおろされたもので、その間の事情は、その新聞社長に金を無心されたにやがせだつたといわれています。

宅地ご入用の方
ご相談に応じます
ミネデンキ
足寄町三笠通り T 2642

新置表替 中古畳 フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
足寄町大通り山口骨院前 T 二四二八

家具建材 アルミサッシ
既製家具から注文家具
住宅産業に奉仕する
有限会社 桜井家具建具店
足寄町北五区 T 二二六二 工場西五区

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園 土木 造林 造材 請負
有限会社 大浦建設 足寄町芽登 T 二一

新しい機械と技術で
整備 板金 塗装
ムトウ自動車工業
板金・塗装 武蔵 警
二級整備士 武蔵 警
足寄町農業共済組合前 T 二五七八

御入学、御就職のお支度は
是非当店へお願いいたします
女子中学生の制服御用命も
早目にお申し付け下さいませ
株式会社 前田呉服店
足寄町駅前商店街 T 二〇二二
二月一日から三日まで京呉服展示即売会を開催

国産共立新製品最軽量型自動給油装置(バック入)
造林 木工 土建一般
共立エコーチェーンソー302
現金正価 49,800円
景品付宣伝売出中 連絡あり次第参上カタログ送呈
国産 舶来 各種チェーンソー
造林用刈払機 刃物 電動工具
有限会社 鈴木鋸刃物店

田中内閣は短命?
田中首相の決断と実行は、佐藤前首相以上の軍事優先物価引上げ政策の強行。
これでは道を追うにつれて社会党、共産党への支持者をふやすことに努力しているようなもの。
かくして田中内閣短命説が流れはじめ、それも来年の参議院選挙の結果いかにこのあととは民社党なり公明党なりを抱きこまないかぎり国会運営は困難に!